

特別の教科 道徳 【会場校：西中学校】

西中学校は、研究3年目を迎えました。今年度は『主体的・対話的で深い学び』を視点とした授業改善～自己の生き方についての考えを深める「道徳」の授業づくり～を学校課題に、プロジェクトチームによって授業づくりが行われました。当日は昨年度の反省を生かして 内容項目 B 思いやり,感謝の授業を改めて実践し、その成果を参観者の皆様に見ていただきました。

【研究授業】

1年4組	主題名 社会の中の思いやり	B 思いやり、感謝
	教材名 「バスと赤ちゃん」	授業者 教諭 清水 望未
2年4組	主題名 思いやりへの感謝	B 思いやり、感謝
	教材名 「夜のくだもの屋」	授業者 教諭 鈴木 佑

【全体会：指導講評および講話】

講話 「道徳授業マネジメント」

講師 帝京大学教育学部初等教育学科 教授 赤堀 博行 先生



1年4組「バスと赤ちゃん」

混雑するバスの中で突如泣き出した赤ちゃん、乗客に迷惑をかけまいと途中下車をしようとする母親、そして乗客に対して理解ある対応を求めるアナウンスをする運転手…

母親、乗客、運転手、それぞれの思いやりから、思いやりのある行動を実践することのよさについて話し合いました。



2年4組「夜のくだもの屋」

毎日遅くまで合唱練習をして帰る少女のために店の灯りをつけてくれていたくだもの屋。コンクールが終わって再び店を訪れると少女の練習していた合唱曲のハミングが聞こえてくる…

見えないところで自分を支えてくれている人々の善意に気づくことのよさについて話し合いました。



講話「道徳教育マネジメント」

特別の教科 道徳の特質を生かした授業構想のあり方について、学習指導要領が示す道徳教育及び道徳科の目標をもとに丁寧にご説明いただきました。

また、令和の日本型教育答申に示された「個別最適な学び」と「協働的な学び」の道徳科における学びの実際について、実例をもとに紹介いただきました。